

令和 5 年度(令和 4 年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	6-1	
PDCA	主要事業名	庁舎改修事業	部課名	総務部総務課	担当	木原	
					内線	246	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 3 - 1 単位施策： 行政運営 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 3,000 千円 会計 一般会計 歳出科目 02.01.05.10.50					目標項目（予算計上時に作成）	
	事業概要等	事業概要： 市庁舎の基本的な機能の維持、適正な管理運営のため、老朽化や環境の変化に対応するため、修繕等を実施する。					
		事業目的： 市庁舎の維持管理					
		事業内容： 施設や設備の長寿命化を図るための修繕等を行う。令和 4 年度は高潮対策として、防潮板改修工事を実施する。					
		問題点・課題等： 可能な限り経費の抑制を図る。					
	予算額	主要事業とする理由					
	3,000 千円	新庁舎建設から約 7 年が経過し、施設や設備の修繕等が必要となっており、環境の変化に対応する必要があるため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費	令和 4 年度実施事業では、現在想定されている台風接近時の高潮浸水に対応可能となる。					
	3,000 千円	目標値や目指すべき状態					
国費	老朽化や環境の変化に対応するための修繕を行うことで、施設や設備の長寿命化につながる。						
0 千円							
県費							
0 千円							
その他							
0 千円							
D 実績値	決算額	得られた成果				主要施策の成果報告書で活用	
	3,000 千円	想定されている高潮浸水に対応可能な設備を備えた。					
		成果指標					
		老朽化や環境の変化に対応するための修繕を行うことで、施設や設備の長寿命化につながる。					
C 課題の整理	事業の評価・課題	A 防潮板の改修事業を実施し、庁舎の出入口 3 か所（4 件）の高潮の浸水高に改めて対応し、緊急避難ビルとしての基準を整えた。					
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性	改善推進 供用開始後 7 年以上が経過し、修繕等を要する箇所も増える見込みにあり、計画的な予算の確保、機能維持のための速やかな修繕等につとめる。水防法の改正で高潮による浸水想定の上引きに伴う改修を実施したように、基準改正等に対応していく。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	—	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	—	⑤成果向上の余地	ない	※手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用